



「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を推進しています！
あたたかい親子コミュニケーションを！

東濃地区の子育て・親育ちつうしん
家庭教育 なう

平成 31 年 1 月発行
恵那県事務所振興防災課
家庭教育担当：奥村
〒509-7203
恵那市長島町正家後田 1067-71
TEL：0573-26-1111（内線 209）
FAX：0573-25-7129
MAIL：q02042@govt.pref.gifu.jp

1 月 1 日～1 月 31 日は「家庭の日」普及実践強調月間です

- 園学校** 家族や家庭について話し合い、子ども達に家族のあり方や関わりについて考える機会を積極的に提供します。
- 各家庭** 家族でふれあう時間を大切に、家族みんなで体力づくりや文化活動に取り組んだり、家庭の仕事を分かち合うなど、家族の絆を深めます。
家族で話し合っ「わが家の約束」を決めるなど、家庭教育の実践に積極的に取り組みます。

和気あいあいとした家庭で育てば、子どもはこの世の中はいいところだと思えるようになる

「子は親の鏡」ドロシー・ロー・ノルトより

家庭とは、子どもの拠り所です。家庭教育とは、全ての教育の出発点です。家族とのふれあいの時間を大切にして、家族の絆を深めましょう。

平成 30 年度家庭教育学級調査並びに

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動への取組状況調査のお願い

県内の公立小中学校・幼（稚・児）園・こども園における家庭教育学級の実施状況について、今後の県の施策に反映していく目的で、各市を通じて、調査を行います。ご協力をよろしくお願いいたします。

本調査における家庭教育学級とは、名称（成人教育学級・母親学級等）や開催主体（本部役員会・研修委員会・成人教育委員会・母親委員会・家庭教育委員会等）に関わらず、学校や園等、市における保護者の家庭教育に関する全ての講座を対象としています。

【平成 30 年度家庭教育学級実施調査 10 項目】

- ①実施日 ②学習内容（テーマ） ③講座対象 ④対象者数 ⑤参加者
⑥参加率 ⑦学習形態分類 ⑧学習内容分類 ⑨テーマ分類 ⑩開催にあたっての工夫

【学習形態分類について】

- A 学校行事参加型 B 体験活動参加型 C 講演会型 D 子育てサロン型
E 在宅取組型（i）（ii）※以下参照

【在宅取組型（i）（ii）について】

（i）「話そう！語ろう！わが家の約束」運動

- ①家族で話し合っ「わが家の約束」を決定する
②取組を実践カード等（県 HP 版か各校作成のもの）に記録する
③実践中や実践後、家族で互いの思いを伝え合う
以上の 3 段階を経ていく中で、コミュニケーションを深める実践です。



（ii）「話そう！語ろう！わが家の約束」運動に類似する運動

定義とは異なるが、テーマを決め、各家庭で取り組む実践です。

例 家族はみがき週間 1 家庭 1 ボランティア運動 親子読書 等



恵那市岩村乳幼児期家庭教育学級 子連れ防災教室「わが子を守る備えをしましょう」

講演会型
体験活動型

日時 平成31年1月10日(木) 10:00~12:00
場所 恵那市岩村コミュニティセンター
参加者 乳幼児親子(5組)
講師 恵那市女性消防隊(3名)

「わが子の命を守る備え」を考える家庭教育学級

恵那市乳幼児期家庭教育学級では、女性消防隊を講師に招いて、市内13地区12学級で「子連れ防災」に取り組んでいます。1月10日は、岩村コミュニティセンターで実施しました。日中の気温が0℃という大変寒い日でしたが、5人のお母さんと6人のかわいいお子さんが元気に参加されました。

活動の内容

☆エプロンシアターと講話

堀春美先生(恵那市社会教育指導員)のエプロンシアターから教室が始まりました。お話が始まると、机の下にもぐっていた子も、お母さんにくっついていた子も、全員注目してお話を聞きました。「食べられないものは食べちゃだめだよ」ということを、楽しく分かりやすく教えていただきました。

エプロンシアターの後は、お母さん達への話でした。乳幼児学級に参加したお母さんの感想を紹介し、乳幼児学級は、「同じ地域で子育てをしているお母さん達と関わるができる貴重な場」であることを話してくださいました。そして、「じゅんばんばん・・・じゅんばんばん・・・」と言いながらおもちゃの順番を待っている子どもの姿を紹介し、子育ては、「子どもから学んで親も育っていくこと」であることを、話してくださいました。

☆日々の事故防止について

- ・子どもは、月齢に応じて起こりやすい事故が変わる。家族で確認しておくこと。
- ・事故は居間で起こる。
- ・誤飲の場合の異物除去の実習。

☆子連れ防災について

- ・ローリングストックがおすすめ。お出かけバッグが避難所に持っていく避難袋になる。
- ・今日の話を防災を始めるきっかけにしてほしい。

☆参加された方の感想

- ・誤飲の実習ができてよかった。避難袋は、まだ準備していないので、これから準備していきたい。
- ・以前に避難袋に準備していた物を忘れてしまうので、その都度点検したいと思う。避難する時の持ち物についての話を交流して、ゴミ袋が必要なことが分かった。
- ・こういう機会があると、防災についてよく分かる。子ども目線で見ることが分かった。
- ・ローリングストックは、使いながら準備できるので、いいと思った。



堀先生によるエプロンシアター

【このよさを学びたい!】

- ・エプロンシアターを使い、小さな子ども達も、お母さんと一緒に話が聴けるような工夫があったこと。
- ・子連れで避難するときに必要な物について、お母さん同士で交流することで、必要な物が具体的に分かったこと。
- ・災害の時、コミュニティセンターが避難所になることを考え、コミュニティセンターの主事が、女性消防隊として活躍している。市として家庭教育防災教室を開催していること。



赤ちゃん人形を使った誤飲対応の実習